

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場会社名 株式会社モスフードサービス

上場取引所 東

コード番号 8153 URL <http://www.mos.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 櫻田 厚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 石川 芳治

TEL 03-5487-7371

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	14,703	3.2	542	156.6	620	232.8	337	—
21年3月期第1四半期	14,244	—	211	—	186	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	10.93	—
21年3月期第1四半期	△0.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	44,068	34,909	78.7	1,125.42
21年3月期	44,674	34,554	76.9	1,114.00

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 34,698百万円 21年3月期 34,346百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	31,000	3.8	700	14.3	700	15.0	150	—	4.84
連結累計期間	62,000	2.2	1,900	8.7	1,900	5.4	600	8.6	19.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	32,009,910株	21年3月期	32,009,910株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,178,411株	21年3月期	1,177,828株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	30,831,783株	21年3月期第1四半期	31,083,941株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における外食業界は、世界的な景気停滞の影響により、企業業績や雇用情勢の悪化などを背景とする生活防衛意識の高まりから個人消費が低迷するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「人間貢献」「社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」を企業目標として、お店がお客様にとってなくてはならないものとなるよう、ブランド価値の更なる向上と業績の回復を目指して、全社をあげて積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は147億3百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益5億42百万円（前年同期比156.6%増）、経常利益6億20百万円（前年同期比232.8%増）となり、最終損益は、固定資産除売却損4百万円、減損損失68百万円、投資損失引当金繰入額6百万円の特別損失を計上した結果、四半期純利益3億37百万円（前年同期比3億58百万円増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結累計期間より営業費用の配賦方法の変更を行っているため、前年同四半期比の記載は行っていません。

<モスバーガー事業>

当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業では、主として以下の施策を展開いたしました。

- (I) ミスタードーナツとの共同新商品および共同販促（MOSDO!第二弾）の実施
- (II) 日本テレビの総合情報番組「スッキリ!!」とのコラボレーション商品の期間限定発売
- (III) サイドオーダー、デザートメニューの拡充による新規顧客層の獲得
- (IV) 携帯メール会員を活用した販売促進活動の推進

店舗の売上につきましては、3月下旬に発売した「とびきりハンバーグサンド トマト&レタス」「同 レタス」が引き続き好調に推移したほか、ミスタードーナツとの共同プロジェクト「MOSDO!」第二弾キャンペーンの成功や、テレビ番組とのコラボレーション商品発売に関連した番組内での告知促進などが奏功し、既存店の売上高前年比は106.5%となったほか、客数100.1%、客単価106.4%と前年を上回りました。またリニューアルから1年を経過した携帯サイトのメール会員数は順調に増加し、当第1四半期連結会計期間末で180万人を超え、キャンペーン情報の発信などのきめ細かい対応に寄与しております。

店舗数につきましては、当連結会計年度より店舗純増を目指す施策のもと、積極的な出店を推進しており、出店4店舗に対し閉店はゼロで、モスバーガー事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は1,327店舗（前連結会計年度末比4店舗増）となりました。

海外の展開につきましては、引き続き業績が好調なことから、台湾6店舗、シンガポール1店舗、香港2店舗、タイ1店舗、インドネシア1店舗を出店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は197店舗（前連結会計年度末比11店舗増）となりました。

これらの施策によりモスバーガー事業の売上高は135億7百万円、営業利益10億91百万円となりました。

<その他飲食事業>

「マザーリーフ」、「ステファングリル」「ちりめん亭」、「AEN」、「chef's V」の各事業を運営するその他飲食事業につきましては、「マザーリーフ」事業は27店舗、「ステファングリル」事業は8店舗、「ちりめん亭」事業は63店舗、「AEN」事業は10店舗、「chef's V」事業は3店舗となりました。

以上の結果、その他飲食事業の売上高は9億92百万円、営業損失は55百万円となりました。

<その他の事業>

「モスバーガー」、「マザーリーフ」、「ステファングリル」、「ちりめん亭」、「AEN」、「chef's V」の各事業を衛生、金融、保険面で支援する連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレッジを始めとするその他の事業の売上高は2億3百万円、営業利益は37百万円となりました。

なお、平成21年7月21日にモスバーガー笹塚店（福岡県）にて、調理機器の不完全燃焼による一酸化炭素中毒とみられる事故が発生いたしました。さらに、7月25日に飯塚幸袋店（福岡県）においても類似の事故が発生いたしました。再発防止策と致しまして、既にホームページ上でもご報告の通り、平成21年8月11日迄にモスバーガー全店に一酸化炭素検知器の設置をすることをはじめ、危機管理教育の徹底などを実行しております。皆様にご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことに深くお詫び申し上げます。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の446億74百万円から6億6百万円減少し、440億68百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から5億86百万円減少し、固定資産は19百万円減少しております。

流動資産が減少した主な理由は、当第1四半期連結会計期間末における売掛金が減少したためであります。

固定資産が減少した主な理由は、減損損失により有形固定資産が減少したためであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ9億60百万円減少しております。この減少の主な理由は、買掛金及び未払金が減少したためであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億54百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末76.9%から当第1四半期連結会計期間末は78.7%と1.8ポイント増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月11日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

①棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り簿価切下げを行う方法によっております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,034,994	6,760,422
受取手形及び売掛金	3,388,579	3,831,833
有価証券	3,783,701	2,147,624
商品及び製品	3,406,479	3,256,827
原材料及び貯蔵品	131,303	115,946
繰延税金資産	225,735	453,920
その他	1,163,700	1,216,124
貸倒引当金	△104,550	△165,800
流動資産合計	17,029,944	17,616,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,722,113	10,628,766
減価償却累計額	△5,887,414	△5,695,402
建物及び構築物(純額)	4,834,698	4,933,363
機械装置及び運搬具	256,979	246,377
減価償却累計額	△161,737	△148,719
機械装置及び運搬具(純額)	95,242	97,658
工具、器具及び備品	5,314,441	5,205,699
減価償却累計額	△3,982,662	△3,824,357
工具、器具及び備品(純額)	1,331,779	1,381,342
土地	2,023,063	2,017,226
建設仮勘定	30,298	8,936
有形固定資産合計	8,315,082	8,438,526
無形固定資産		
その他	1,055,143	1,187,322
無形固定資産合計	1,055,143	1,187,322
投資その他の資産		
投資有価証券	6,521,527	6,506,651
長期貸付金	3,030,468	3,054,893
差入保証金	5,507,776	5,504,430
繰延税金資産	580,062	603,748
その他	2,855,053	2,857,551
貸倒引当金	△401,025	△376,757
投資損失引当金	△425,600	△718,700
投資その他の資産合計	17,668,263	17,431,818
固定資産合計	27,038,489	27,057,667
資産合計	44,068,434	44,674,565

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,741,441	4,436,125
短期借入金	1,180,640	1,225,216
未払法人税等	104,551	171,016
賞与引当金	197,042	365,499
その他	2,154,167	2,258,628
流動負債合計	7,377,843	8,456,486
固定負債		
長期借入金	58,354	80,857
繰延税金負債	22,640	22,111
退職給付引当金	122,657	70,816
その他	1,577,912	1,489,492
固定負債合計	1,781,564	1,663,277
負債合計	9,159,407	10,119,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,531	11,100,524
利益剰余金	14,307,317	14,196,735
自己株式	△1,605,051	△1,604,182
株主資本合計	35,215,642	35,105,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△209,494	△426,094
為替換算調整勘定	△307,794	△332,975
評価・換算差額等合計	△517,288	△759,070
新株予約権	121,569	123,186
少数株主持分	89,102	84,765
純資産合計	34,909,026	34,554,802
負債純資産合計	44,068,434	44,674,565

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	14,244,009	14,703,902
売上原価	7,643,693	7,788,958
売上総利益	6,600,316	6,914,944
販売費及び一般管理費	6,389,049	6,372,916
営業利益	211,266	542,028
営業外収益		
受取利息	18,769	16,120
受取配当金	16,536	50,513
設備賃貸料	428,105	449,215
協賛金収入	57,752	10,728
持分法による投資利益	5,853	32,033
雑収入	41,341	65,221
営業外収益合計	568,358	623,832
営業外費用		
支払利息	3,880	4,703
設備賃貸費用	552,966	501,793
雑支出	36,291	38,794
営業外費用合計	593,138	545,291
経常利益	186,485	620,569
特別利益		
固定資産売却益	7,187	7,102
貸倒引当金戻入額	54,739	36,975
その他	12,453	1,617
特別利益合計	74,380	45,694
特別損失		
固定資産売却損	3,533	130
固定資産除却損	43,902	4,371
減損損失	49,536	68,010
投資損失引当金繰入額	32,100	6,900
その他	56,629	—
特別損失合計	185,702	79,412
税金等調整前四半期純利益	75,164	586,851
法人税、住民税及び事業税	39,138	70,707
法人税等調整額	55,983	176,454
法人税等合計	95,122	247,161
少数株主利益	982	2,565
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,940	337,124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	75,164	586,851
減価償却費	592,419	533,954
減損損失	49,536	68,010
持分法による投資損益 (△は益)	△5,853	△32,033
固定資産除売却損益 (△は益)	47,436	4,502
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△197,765	△168,659
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,390	51,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△54,739	△36,983
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	32,100	6,900
受取利息及び受取配当金	△35,305	△66,633
支払利息	3,880	4,703
固定資産売却損益 (△は益)	△7,187	△7,102
売上債権の増減額 (△は増加)	750,949	438,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△377,514	△135,563
仕入債務の増減額 (△は減少)	640,398	△741,298
その他	△369,931	△188,442
小計	1,144,978	318,554
利息及び配当金の受取額	34,087	115,659
利息の支払額	△4,880	△5,156
法人税等の支払額	△203,523	△142,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	970,662	286,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△300,000	△638,320
有形固定資産の取得による支出	△322,125	△139,455
有形固定資産の売却による収入	42,121	49,547
無形固定資産の取得による支出	△85,485	△40,743
貸付けによる支出	△267,064	△112,931
貸付金の回収による収入	295,955	226,588
投資有価証券の取得による支出	△1,612,247	△207,885
投資有価証券の償還による収入	1,917	1,205
定期預金の預入による支出	△5,101	△5,703
定期預金の払戻による収入	170,000	503,600
その他	△80,723	△12,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,162,753	△376,221

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△123,764	△37,875
長期借入金の返済による支出	△32,499	△32,499
自己株式の取得による支出	△156	△958
自己株式の売却による収入	92	97
配当金の支払額	△1,752	△143,064
その他	31,386	△69,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,693	△283,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,934	△525
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,345,719	△374,314
現金及び現金同等物の期首残高	8,598,756	8,213,011
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	94,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,253,036	7,933,266

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	モスバーガー事業 (千円)	その他飲食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,966,427	1,112,035	165,546	14,244,009	—	14,244,009
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,697	—	301,957	336,654	△336,654	—
計	13,001,124	1,112,035	467,503	14,580,663	△336,654	14,244,009
営業利益又は営業損失 (△)	306,009	△133,442	33,794	206,360	4,905	211,266

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、モスバーガー事業、その他飲食事業、その他の事業に区分しております。

2. 事業区分及び各区分に属する主要な製品等の名称

事業区分	区分に属する主要な製品等の名称
モスバーガー事業	ハンバーガー、ライスバーガー、モスチキン、スープ、ドリンク等及びパティ、パンズ、ポテト等の食材並びにカップ、パッケージ等の包装資材
その他飲食事業	紅茶、ワッフル、パスタ、スイーツ、ハンバーグ、オムライス、ラーメン、餃子、和風旬菜料理、洋風旬菜料理等
その他の事業	食品衛生検査、金銭貸付、保険代理、リース、教育・研修、給与計算受託、店舗保守、内装工事等

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②イ)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響はありません。

(棚卸資産の評価方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②ロ)に記載のとおり、従来、商品の評価方法については主として最終仕入原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より商品のうち、卸売に係る倉庫在庫については月次総平均法による原価法に変更いたしました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結会計期間の営業利益が、モスバーガー事業で25,347千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」③に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響はありません。

(リース取引に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」④に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	モスバーガー事業 (千円)	その他飲食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,507,939	992,340	203,622	14,703,902	—	14,703,902
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,178	91	266,147	302,417	△302,417	—
計	13,544,117	992,431	469,770	15,006,319	△302,417	14,703,902
営業利益又は営業損失(△)	1,091,313	△55,860	37,125	1,072,578	△530,550	542,028

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、モスバーガー事業、その他飲食事業、その他の事業に区分しております。

2. 事業区分及び各区分に属する主要な製品等の名称

事業区分	区分に属する主要な製品等の名称
モスバーガー事業	ハンバーガー、ライスバーガー、モスチキン、スープ、ドリンク等及びパティ、パンズ、ポテト等の食材並びにカップ、パッケージ等の包装資材
その他飲食事業	紅茶、ワッフル、パスタ、スイーツ、ハンバーグ、オムライス、ラーメン、餃子、和風旬菜料理、洋風旬菜料理等
その他の事業	食品衛生検査、金銭貸付、保険代理、リース、人材派遣、店舗保守、内装工事等

3. 当第1四半期連結会計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、538,206千円であり、その主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

4. 会計方針の変更

(営業費用の配賦方法の変更)

営業費用の配賦方法については、従来、管理部門等に係る費用を可能な限り各セグメントに配賦してきましたが、当第1四半期連結会計期間より、提出会社の経営管理に係る部門の費用を配賦不能営業費用とする

とともに、それ以外の営業費用については配賦基準をより適切なものに変更しております。

この変更は、営業費用の配賦方法を同社の経営管理の手法に即したものとし、セグメント別営業損益の実態をより明瞭に表示するため行ったものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第1四半期連結会計期間の営業費用は、「モスバーガー事業」が538,206千円減少、「消去又は全社」が538,206千円増加しております。この結果、従来の方法に比べ「モスバーガー事業」において営業利益が同額増加し、「消去又は全社」において営業利益が同額減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。